

— 市民がつくる市民のための地域環境情報誌 —

# エコライフみしま



知っていますか？



市の鳥「カワセミ」



市の木「イチョウ」



市の花「三島桜」

第36号  
2020/10/15

- 特集「編集スタッフが選ぶ環境の本」・・・P2、P3
- 環境用語解説・・・P4

## 編集スタッフが選ぶ環境の本 (市民ボランティア)

### もったいないばあさん

真珠 まりこ作・絵 講談社

子どもと楽しみながら、「もったいない」を学べる絵本。子どもが「もったいない」を考えるきっかけになります。自分のできることを楽しく、取り組むのが、環境への取り組みの基本です。



♪もったいないばあさん音頭



子どもと一緒に  
読んでほしい  
環境の本

2020年青少年読書感想文  
全国コンクールの課題図書



### ポリぶくろ、1まい、すてた

ミランダ・ポール作/エリザベス・ズーン絵

藤田 千枝訳 さえら書房

アフリカのガンビアのアイサト・シーセイという女性のごみ問題への活動を絵本にしたものです。やさしい文体でわかりやすく書かれています。

環境保全に一步を踏み出す勇気とヒントを与えてくれるかもしれません。

クイズ：レイチェル・カーソンが書いた環境問題の先駆的な著書の題名は何でしょうか。

- ①色のない秋      ②沈黙の春      ③命に関わる気候変動      (答えはP3へ)

## スタッフが選ぶ環境の本

書店、図書館等では、多くの環境に関する本を目にするようになってきました。

「エコライフみしま」第36号では、編集スタッフが選ぶ環境の本をスタッフの感想とともに紹介します。

環境について

知ることも環境問題への取り組みの一つです。ぜひ、読んでみてください。



## 環境問題の先駆的な本

国語・英語の教科書にも掲載



教科書で  
読みませんでしたか?

### 沈黙の春

レイチェル・カーソン【著】/青樹 策一【訳】

新潮社

1962年に発行された、有害化学物質汚染に関する啓発書であり、ベストセラー。

冒頭に、有害化学物質に汚染された架空のアメリカの町の様子が寓話として述べられる。そして「春がきたが、沈黙の春だった。」というフレーズが出てくる。様々な視点から、化学物質が環境そして人間に及ぼす影響について述べられている。

58年も前はかなり古い本であり、今では内容的に技術的・科学的な正確性を求めることはできないであろうが、人間と環境の関係については示唆に富んだ表現にいくつも出会う。

読者には「人間」と「自然」の関係を考え直すきっかけになった人が多かったであろう。環境問題の著作としては先駆けであり、人間の行動を変えた古典である。その主張に今でも古さは感じられない。

### 不都合な真実

アル・ゴア【著】  
枝廣淳子【訳】  
実業之日本社

「地球温暖化」について、一般読者向けに、写真・図表・イラストを多用してその深刻さを訴えている書。

アル・ゴアは、地球温暖化への取り組みに対して、2007年にノーベル平和賞を受賞している。

字は少なく、大きく、写真はきれいである。写真集をめくる感じで、地球温暖化を感じることができ。

### グリーン経済最前線

井田 徹治 末吉 竹二郎【著】  
岩波書店

世界は今、グリーン経済へ転換。日本は世界の動きから大きく取り残された。この本を読んで、地球温暖化は思ったより深刻だと知った。

### 「地球を守るため」 読んで欲しい環境の本

### 成長の限界

ローマ・クラブ

「人類の危機」レポート

D・H・メドウス D・L・メドウス  
J・ランダース W・W・ベアランズ【著】

大来佐武郎【訳】  
ダイヤモンド社

「世界」を大胆にもモデル化したこと、そしてそのモデルの正確性などはさておき、地球が有限であることを強く意識させ、視点をグローバルに置いて政治・経済活動を行う必要性を強く啓発したことは、この当時としては画期的なことと言える。現在の「持続可能な開発」という考え方につながったと言えるのではないかと思う。

### 地球に住めなくなる日

「気候崩壊」の避けられない真実

デイビッド・ウォレス・ウェルズ【著】  
藤井 留美【訳】  
NHK出版

膨大な数のデータの解析により近未来の予測が述べられており、読んでいくうちに怖くなっていく。私たちが何も手を打たずにいたら地球はこんなすがたになってしまおうということを感じる。異なる角度から解説。2030年、2050年、2100年の節目に合わせた予測状況が解りやすく述べられている。

こちらの本も  
読んでみてください

### 不都合な真実2

アル・ゴア【著】  
枝廣淳子【訳】  
実業之日本社

### ナチュラル・ステップ

スウェーデンにおける人と企業の環境教育  
カール＝ヘンリク・ロバール【著】  
市河 俊男【訳】  
レーナ・リンダール【協力】  
新評論

## イラスト等で環境問題が目で見えてわかる環境の本

### 図解でわかる

14歳からの

プラスチックと環境問題

インフォビジュアル研究所【著】

太田出版

私たちの課題でもあるプラスチックごみの減量化。プラスチックについての基礎知識、環境問題、リサイクル(3R)、脱プラスチック生活、SDGs等について、イラスト入りで大変わかりやすい内容になっています。

### 図解でわかる

14歳からの

水と環境問題

インフォビジュアル研究所【著】

太田出版

地球は「水の惑星」とも言われています。私たちの生活から切り離せない「水」についての問題点、歴史、地球温暖化、水を守るための解決方法等がイラスト入りで大変わかりやすい内容になっています。

### まんがで学ぶ開発教育

世界と地球の困った現実

「飢餓・貧困・環境破壊」

「日本国際飢餓対策機構」(編)

みなみななみ【漫画】  
明石書店

飢餓、貧困、環境破壊についてわかりやすくまんがで書いてあります。世界で起こっている問題の多くが日本にも関わっている。内容はなかなかシビア。

「ゴミ清掃員の日常」

滝沢 秀一【原作・構成】  
滝沢 友紀【まんが】  
講談社

ゴミ清掃員という「人」の事まで考えると、更にゴミを減らしたり、ゴミ出しのルールを守るようになるのでは？ かるく読めるコミックエッセイですが、ゴミ、地域、職業、家族、人生……色々な事を描いている素敵な作品！ 続編「ゴミ清掃員の日常 ミライ編」もオススメです。

生活の中からの環境の本



「お江戸」の素朴な大疑問

中江克己【著】  
PHP文庫

現代のようにインフラが整備されていない時代。その環境の中で、紙や衣類をリサイクルしたり、水を大切に使用したり、現代人が学ぶべきことの多い読み物です。

「ゼロ」

無理せず、楽しく、あるもので

田村 記久恵【著】  
アズマカナコ【監修】  
KADOKAWA

「電気代500円」で話題となったエコの達人主婦・アズマカナコさんから学ぶ節約生活。

著者の「ゆるい」感覚に共感しながら、エコの工夫や発見を楽しくも伝わります。

ゼロ・ウェイスト・ホーム

「みを出さないシンプル暮らし」

ベア・ジョンソン【著】  
服部 雄一郎【訳】  
アノニマ・スタジオ

究極までゴミを減らす暮らしは衛生的でオシャレでエコロジーで、人生を豊かにしてくれる！ 衣食住、レジャーなど様々な場面での具体的なアイデアが満載。ここまでやるか！ という徹底ぶりに感心します。



表紙のクイズの答え

②沈黙の春

前号 35号の表紙で  
スピーチ掲載

心も育む  
心に響く  
環境の本



センス・オブ・ワンダー

レイチェル・カーソン【著】  
上遠 恵子【訳】  
新潮社

「自然に対する感受性を育む」ことの必要性、「自然のすばらしさ」が、美しい文章でつづられている。環境問題を考えるとき、経済的な損得、健康や生存への適否だけの議論ではない視点を持つことも必要であることを気付かせてくれる。

あなたが世界を変える日

「12歳の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチ」  
セヴァン・カリスルスキ【著】  
ナマケモノ倶楽部【編・訳】  
学陽書房

28年前、リオ地球環境サミットで12歳の少女が世界の首脳を前にしてスピーチした内容が書かれてあり、読んでいるうちに感動し、涙が出てしまった。

幸せって何だろう、その意味をあらためて考えてみる。そして、わたし「にも」できることがこんなに……。そんな心を起こさせてくれる本です。大人とか子どもとか、職業や趣味とか関係なくすべての人に読んで欲しい本です。

募集

掲載した本の感想を募集します！

感想をエコライフみしまに掲載します

本の題名、感想（200字程度）、名前、日中の連絡先を記入し、編集事務局（環境政策課）へ

✉ kankyou@city.mishima.shizuoka.jp

FAX 976-8728



電子申請はこちら

木を植えた男

ジャン・ジオノ【著】  
寺岡 襄【訳】／黒井健【絵】  
あすなろ書房

ひとりの男は荒れた地に黙々とカシの木をドングリを埋め続けた。20年足らずで地域一帯は復活し、多くの人が住みつき、活気に満ち溢れた。私たちの生活を守る森林について考察する1冊です。

ニュースや新聞等でもよく目にする環境に関する3つの言葉を解説します。

## 「持続可能」

地球環境が壊されず、未来まで続くということです。すなわち、現在のわたしたちだけでなく未来の人たちも豊かに暮らすことができる状態ということです。

sustainability の訳語として使用されています。

SDGs : Sustainability Development Goals (持続可能な開発目標) は環境問題だけでなく、貧困、格差などの経済・社会問題の解決も目指す世界共通の目標です。



## 「気候変動」

環境問題においては、地球温暖化とその影響による気候の変化のことです。

温暖化による気温上昇だけでなく、干ばつや大雨などの自然災害も含まれます。世界的にこれらの影響により多くの被害がでています。

気候変動対策には、気候変動の原因とされる温室効果ガスの排出を抑える「緩和」と気候変動によって生じる被害や災害に備える「適応」の2つの対策が大切です。

## 「循環型社会」

大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会に代わる今後、目指す社会のことです。

限りある資源を大切にし、有害物質を出さないエネルギーを利用して、長く使える物をつくり、大切に使い、使い終わったら再利用・再生していき、有害物質やごみを出さないようにすると、限りある資源が上手に循環します。



【編集後記】スタッフの「今でしょう！くい止めるのは！」という意気込みでできた 36 号です。『沈黙の春』には、衝撃を受ける言葉が羅列されています。自然は生物全体を育ててくれたのに、人間が自然を壊しています。自然災害の多発、命に関わる・命が危険と言われる気候、異常気象を感じずにはいられない日々です。

環境は大きな問題ですが、身近な問題でもあります。ヒントは、食品ロス、節電、節水等。まだ、間に合う！真剣に環境問題を考え、話し合い、みんなで行動を始める時です。自然にいいこと、自分にできること、今から、さー、やろう！（i）

【編集スタッフ（市民ボランティア）】 青木博・飯田喜一・大村洋子・武井功・西名秀芳・堀江紗代・山本京二

一緒に『エコライフみしま』を作りませんか。  
ご興味のある方は、右記環境政策課までご連絡ください。

## 第36号（5月・10月の年2回発行）

令和2年10月15日発行  
〒411-0858 静岡県三島市中央町 5-5  
三島市役所中央町別館  
環境政策課内  
「エコライフみしま」編集事務局  
TEL:055-983-2647  
FAX:055-976-8728  
E-mail:kankyou@city.mishima.shizuoka.jp